夕刊
常磐新聞
祭日・日曜・休刊
定價（一部三錢　一ヶ年一圓六十錢　送料一ヶ月十五錢）
廣告料（一行五十錢　場所指定廿錢增）
福島縣平町南町　發行人　鈴木禎亮
發行所　常磐新聞社

平町　釜久屋　電話9番　99番

時事片鱗　清園

▼大平町の女房役として町の發展向上の任務を肩に荷ふ助役の推薦は將來町の何人が適任なるや、果して豫定の人物が問題その何人が適任の人物は果して誰ぞ知る人ぞ知る。と書きかけた時に酒井君との報あり先づ〳〵

▼時は九夏三伏の酷暑である、人皆瓶中にある思ひあらしむるとき、海に山に暑を避けんとするとき、昨日迄の冷氣は如何せしものぞの人は云ふ太陽が時候に當のてられ黒点病に罹りしもなりと時節柄寒心に堪へぬである。昨日からは御天氣になつた病氣も愈々りかゝつたかなア……!!!

▼不況の打開は合理化にありと知つたか、振りする物知り人は云ふ何んの合理化か、春去れば夏來り秋去れば冬來る四時の序功をなすものは去ると、待てば海路の日和うとやら、そのうち好轉の時機到來せん決して悲觀したものではない

▼混亂の農銀株主總會ほど醜いものはあらじ、甘きものに蟻がつき目の寄るところい玉とやら兩派勝派は宛れとするもとも、渦中の人物は何れも縣下に名なる資力兼備の上流人材である車夫馬丁の喧嘩と撰ぶところなき眞に唾棄すべき行藏果して紳士とはこれを謂ふのか……まさか衆議員の喧嘩振りを眞似た理でも新妻町長それでも足りはせぬと亦々心配させられる由を聞く、ソウ云ふ輩こそ正面に立つてヤツテ見ろ自分がひりなした子供だつて思ふ樣になるものかウン仕事は徐ろに機會を覗つてやれよ其所が仕事にて候也

暑中御伺
昭年六年盛夏
日刊　常磐新聞社
主幹　鈴木清園
外印刷部員一同

事業と人物

泉村の慈父　醫師　佐藤直信氏

氏は本縣下に於ける刀圭界の重鎭として其の技能の優秀なる点と人格識見とに於て敢て大都會に在つても當然同業者間に頭角を拔くべき位置に在るべき筈なるにも不拘鄕土愛の發露止み難く專門校を終はると間もなく泉村の避境地に在つて孜々として一般患者の爲めに更生の福音を齊ろしてゐる即ち氏の如きは

幽谷聖蘭放清香
人生妙味在此所

と云ふ人物である、所謂積善の家に餘惠ありとか遠近よりの患者で門前市をなしてゐる尙婦君は克く氏を內助して村內子女の風敎嬌正に努力してゐる。

誤傳された長谷川君の飛んだ災難

縣下多數の周旋業家中同氏は今日迄に些支障だもなかつた長谷川辰之助氏は過日同業者大塚某方に於て中村町周旋業吉岡德三郎樞打事件に關し其の際見聞した某の話によると長谷川君は吾れ〳〵同業間でも堅實なる意味に於て信賴を得つゝあつた人で其の當時も吉岡が州崎へ娼妓を周旋すべく奔走したが及ばなかつたのを幸ひ州崎方面に信用ある長谷川氏の仲介により話が纏り而かも吉岡は主人側から待てしはしない報酬を得長谷川は返つて其の配分に預からず問責したるいきさつより吉岡の不當辯解に對し昂奮の餘り肩を一寸押した事は寧ろ同人に同情すべきものだと云つて得た。

夏の聚樂園

平一番の涼しい場所盛夏とゆうに鶯の聲の聞かれる城山聚樂園溫泉場は藥湯の効驗あるために頗る繁榮を極めてゐるが今までの浴室にては狹溢を感じたる關係上飯田氏は今回これを增大すべく新築着手中の處不日完成する事になつた、完成の曉は平の一名所として聚樂園の名は愈々一般から周知される事になるだろう因に園主飯田氏は氣骨ある慈善家として傷病兵救護の爲にも最大努力をいたしてゐる。

夜平の町

夏になつた〳〵ゆふべからが夏の氣分になれた。おかげで町の商人などもたとへ十錢でも收入が多くなる理けだ。常磐銀行前の露店なども凉み客がいつもよりも多かつた。今夜は停車場へ直進して見た、別してこれと云つて取立てゝ書くよふなこともなかつた。鈴木部長が乘降客の動作に刺眼を放つて居た事が職掌柄御苦勞と思つた位だ。番頭の風儀も更つた一人の誘引行動を見なかつたのも嬉かつた。有聲座での今度の呼び物『南海白影』の看板など見てから近頃開業した簡易食堂エビスへ這入つた五錢のウドンを一杯喰つた處五錢にしてはなか〳〵の美味、食卓に飾られてゐた百合の葉が皆んな赤くなつてゐたのが嫌だつた。華かな田町を覗かふと思つたが藝者衆が三々伍々浴衣掛けて散步して居る處を見るとアンマリ閑らしいよふにも想はれて行く氣にもなれず今度開業した杵ずしの分身、黒猫でコーヒーでも飲まふと思つて這入つて見た周圍の飾り付け椅席の配置からその華美にして氣分をそゝる事平第一をおもはせられたが。アラを捨ひば女給が手にしてゐたナプキンが純白でなかつたことだ、それはよごれ目を見せない爲でもあらうが矢張あゝしたものは白いのが良い感を與へるものだ、それと今少し平、風味を保つことだ。それに不良老年が少年の中間らしいのが集團してゐて而かも客に金を一度支拂のに對して今一度會計してはどうだと云つてゐた、尠くともこんな野郎は女の尻でも追び廻はそふとする狠連で某客など非常に憤慨してたが、平素に於ける主人の溫良さにめでゝ歸つたよふだが表で聞けば公園下あたりの白粉慕漢だそうだ、コンナ野郎が毎夜出入して客に迷惑をかけたら流石の黒猫もエーの皮にされて終ふだらう、

石城果實業界を代表する大倉組合と（共）果實共同販賣所

石城郡赤井村より產出する梨、桃の品質と聲價とは現今全國的にも其の優秀なる点に於て五指さるゝに至り全國各地よりの注文が殺倒しつゝある由にて赤井驛前丸共果實共同販賣部の如き其の信用ある取次を永年經續し居る關係上目下出廻りの桃實の如き既に品不足を呼むで居る、尤も同販賣所は赤井村に於ける果實栽培者の精悅の集團である赤井大倉組合と連絡販賣を主としてゐるので優秀なる品質の集荷と件つて今日を至してゐるが全組合及び販賣所は一面努めて生產者の福利增進に留意し居るため生產者の空氣も頗る圓滿である由に組合の販賣所は一般から好感を持れてゐる。

崇られた片倉製糸場

水が良いのと、所長、事務長等が斯業增益に對する苦心の迸りである結果今日の繁殷片倉をなしてゐる然るに自然恩惠なる水質の關係重大なりと一方は難有味さへ感じ居るにも不拘本郡殖產界のオーソリチーである明るい〳〵片倉が水を多く使用するが故に一割以上の價上げをするとは一寸變な理けだ即ち何商賣に不拘多く使ふ御得意に對しては寧ろ勉强もし、價下げもせねばなるまい、然るを俠偏な考いから陰に陽に町のためともなりつゝある片倉に對し多く費ふから價上げをするとは何事であらふ物持ちに賦課するとは問題が違ふ磐城實業界隨一である片倉に儲けさせもしてこそ町民の福利か見られる理であらう、だから當局が無能呼はりをされることになる多く費ふから率を引上るナンテ少しは前掛氣分の修養をして欲しいものだ。

投稿歡迎

第七拾一期營業報告

貸借對照表

現金預ケ金勘定	四二、九五二、二五	當期利益金	五、一四、三六
諸積立金	五〇〇、〇〇	株主配當金（年三分）	二、二二、五〇
現金	二〇、九五二、二五	後期繰越金	二、四二、八八
預ケ金	三、〇〇〇、〇〇	昭和六年七月弐拾一日	
有價證券勘定	四七、五六八、五〇	福島縣植田町	
國債	二、四五〇、九〇	株式會社	**磐東銀行**
株式	二六、〇九九、五〇	取締役頭取	江尻　博孝
割引手形勘定	八、〇五九、七七	專務取締役	金成　欽次
商業手形	七、二三〇、〇〇	取締役	金成　通
荷付爲替手形	八二九、七七	同	岡山保治郎
貸付金勘定	六六〇、〇一九、五七	同	馬上　誠一
手形貸付	三六九、四六六、〇一	同	兒玉　萬平
證書貸付	二〇四、九七二、五八	監査役	金成　金三
當座貸越	八五、五六二、九八	監査役	古川　傳一
他店貸	一〇、六一四、一五	監査役	藤田淺之助
動產不動產勘定	一八、〇一四、四二	監査役	久保木榮作
營業用土地建物什器	七、一六三、一八		
所有動產不動產	八五一、二三		
假拂金	二、五七七、九六		
株主勘定	三五二、五〇〇、〇〇		
拂込未濟資本金	三五二、五〇〇、〇〇		
資產合計	一、四二二、三七七、六二		
預金勘定	五七、六五二、〇六		
當座預金	四〇、三六六、一四		
特別當座預金	二〇五、二五三、八四		
通知預金	二三、九六六、八六		
定期預金	一五八、〇六六、二三		
借用金勘定	四九、四六八、三五		
借入金	四四、四二八、三五		
當座借越	五、〇〇〇、〇〇		
他店借	二、二六六、四四		
雜勘定	六、九四二、一八		
未拂配當金	八五、二五		
未拂利息其他	四、二四四、〇〇		
未經過割引料其他	一〇七、五八		
預金利子諸稅	六七七、九五		
行員身元保證金	一、七九八、四〇		
株主勘定	五〇七、〇四四、三六		
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇		
法定準備金	三八、一〇〇、〇一		
退職給與基金	三、八〇〇、〇〇		
當期利益金	五、一四一、三六		
負債合計	一、四二二、三七七、六二		

第廿三期營業報告

貸借對照表

貸產之部

未拂込資本金	三、七五〇、〇〇〇、〇〇		
線路屋內工作物五五〇、四五九、三三			
機械器具貯藏品一三、一六六、九一			
及土地建物什器一三、一六六、九一			
有價證券	七五、九一〇、八八四		
假拂金	五八、六五六、七二		
受取手形及未收入金	一三三、九九九、九九		
發電所勘定	一、五八二、四三一、五五五		
變電所勘定	一四四、四四四、七五五		
化學工業部勘定	四六、四四九、七三		
預ケ金及現金	二四三、五八一、八八		
合計	六、六八九、〇〇七、九九		

負濟之部

資本金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇		
諸積立金	一四五、四六六、〇〇		
假受金	九、九三〇、四四		
未拂金	三九、五三〇、五〇		
未拂配當金	一、六六八、〇二		
當期利益金	七一、八三〇、六六		
合計	六、六八九、〇〇七、九九		

右之通リ二候也

昭和六年六月三十日

植田水力電氣株式會社

暑中御伺

町長　鈴木　榮
助役　高木　保

久保田醫院
佐瀨醫院
內田診療所
中村醫院
木田齒科醫院
石坂齒科醫院
小松齒科醫院
山村醫院

江名濱町

平川醫院
首藤醫院
江名漁業組合
同料理組合
江名信用組合
中之作鐵工場
豐間回春園　院長外一同
大敷網會社　茨城縣平潟町

町長　鈴木乙吉　外吏員一同

◆平町二丁目第百七銀行跡へ移轉仕り候

平鹿民金庫

平潟町

大敷網會社

小名濱町　高橋亘

佐藤時計店
小名濱水產株式會社
磐城水產工業株式會社
村上吳服店
寶屋藥店
白石藥店
尾城寫眞館
森西洋洗濯店
レストランミナト食堂
清水屋酒店
內山時計店
クトミヤ菓子店
すまや牛乳店
水野ひろ
小名濱大敷漁場　郡司二郎
小名濱製氷會社
小名濱漁業組合
七十七銀行　小名濱出張所
天正堂印舖
水野罐詰所

泉村

佐藤醫院
石城銀行組合
石城町村長會

石城郡選出縣會議員　縣支部幹事長　鈴木辰三郎
若松美三
野崎滿藏
山崎吉平
鷲清昇
古川傳一
植田水力電氣會社　金成通
石城民政黨部會幹事長　荻原義雄
磐城片倉製糸會社　場長　辰野賢造
事務長　小澤三代吉
磐城無盡會社
高久醫院
平町城山聚樂園　飯田近治
平町　大一屋時計店
小野田炭礦會社　社長　戶部光衛
古河炭礦會社
平町　吉田寅之輔
吉村安次郎
荒川淺次郎
佐々木龍若
郵便局　樫村義衛
平城山　平町長橋乾物商　關勝茂
靑物商　高子敎藏
平町　廣木正一

平町　旅館業組合
平町　藝妓組合
不動澤礦業所　五十嵐炭礦
浪花炭礦　佐藤留藏
清水屋書店
鈴木常雄
平町會議員一同　平町公私立學校長
仲屋洋服店
鳳城炭礦會社
平町　マルトモ　柴田書店
平町　關內藥店
小野常治商店
藤市
平町西洋料理組合　關內正一
會津屋　小原喜八
山崎合名會社
南町料理屋組合　柳屋外六名